

製品名: PPP1CB マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81358**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	37.2kDa

抗原情報

遺伝子名	PPP1CB
別名	PP1B; PP-1B; PPP1CD; PP1beta
遺伝子 ID	5500.0
SwissProt ID	P62140
免疫原	大腸菌で発現したヒト PPP1CB (AA: 174-327) の精製された組み換え断片。

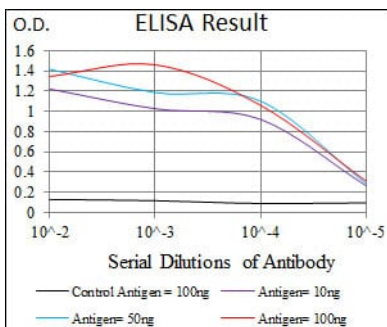
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質ホスファターゼ 1 (PP1) の 3つの触媒サブユニットの 1つです。PP1 はセリン/スレオニン特異的なタンパク質ホスファターゼであり、細胞分裂、グリコーゲン代謝、筋収縮、タンパク質合成、HIV-1 ウィ

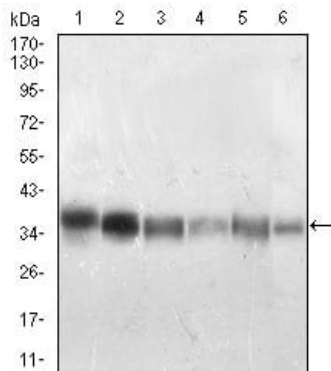
ルスの転写など、様々な細胞プロセスの制御に関与することが知られています。マウスを用いた研究では、PP1が学習と記憶の抑制因子として機能することが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。

研究分野

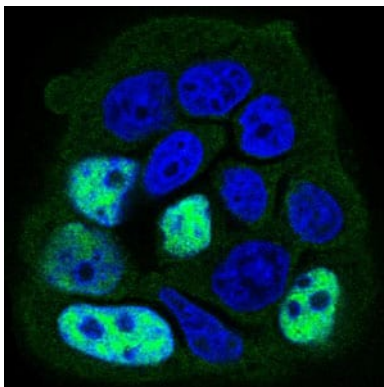
画像データ



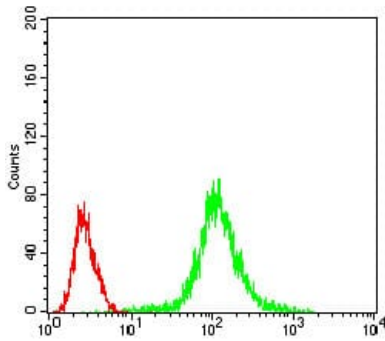
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



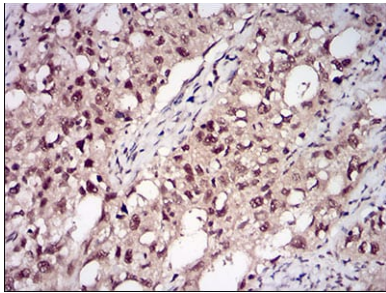
Jurkat (1)、A431 (2)、HeLa (3)、HepG2 (4)、HEK293 (5)、MCF-7 (6) 細胞溶解物に対するPPP1CB マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



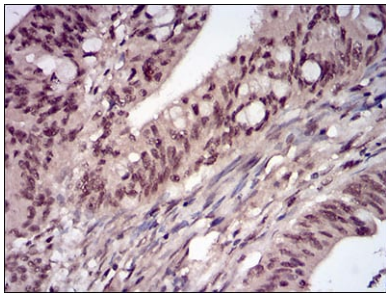
PPP1CB マウス mAb (緑) を用いた MCF-7 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



PPP1CB マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



PPP1CB マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による PPP1CB マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。